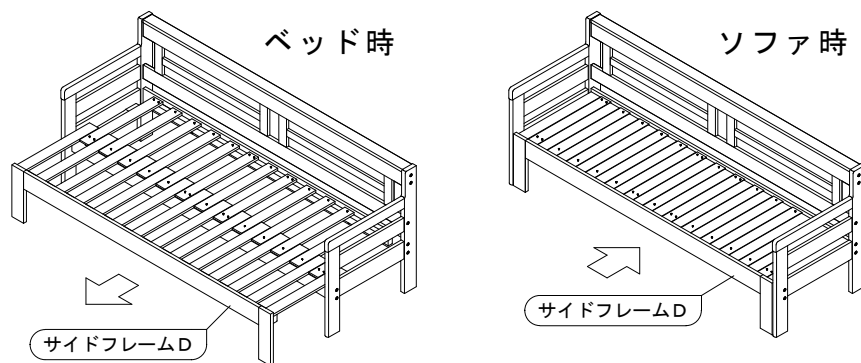
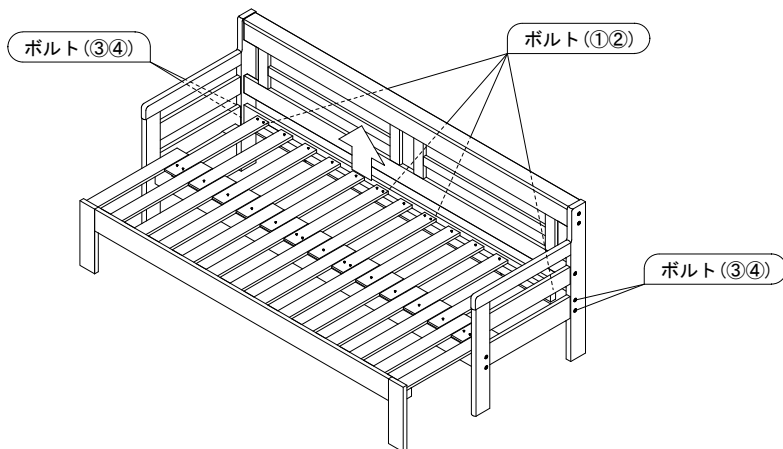
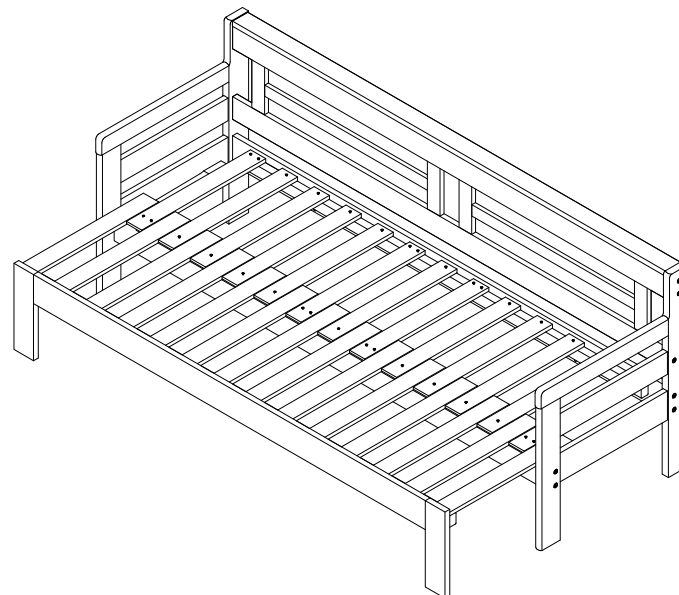
※　ベッドとして使用する時は、サイドフレームＤを少し持ち上げて、すのこを引き出します。
※　ソファとして使用する時は、サイドフレームＤを少し持ち上げて、すのこをしまいます。
※　すのこを出し入れする際には、サイドフレームＤの脚部を引きずらないように注意してください。床を傷つける原因になります。

※1　すのこの出し入れがしづらい時は、以下の方法で改善される場合があります。
①後ろ側のすのことサイドフレームＢを固定しているボルト４本を少し緩めます。
②後ろ側のすのこを可能な限り持ち上げた状態でボルト４本を締め直します。

※2　①②を行っても改善されない場合は、③④の作業を行ってください。
③サイドフレームＢとサイドボードＬ・Ｒを固定しているボルト各２本を少し緩めます。
④サイドフレームＢを可能な限り持ち上げた状態でボルト各２本を締め直します。

◆製品についてのお問い合わせは◆
輸入販売元　　株式会社 充英アート
問合せ　　０１２０－６００８７５
受付時間 土日祝除く午前９時半～午後５時半
※組立･設置に関してのお問い合わせにもお答えいたします。
http://www.jajan.co.jp/

140613

天然木すのこソファベッド
ＳＦＢ－２００
組立取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この説明書及び添付書類をよくお読みの上末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

※　この説明書及び、他添付書類は必ず保管してください。
※　万一商品に不良や部品不足などの不都合がございましたら、該当品番と下記の製造ロット番号を併せてご連絡ください。

品　番		ＳＦＢ-２００
寸法(cm)		幅×奥行×高さ
	(ソファ時)	２０４×６７.８×８０
	(ベッド時)	２０４×１０８×８０
床面高(cm)		３２.７
床下高(cm)		１９.７ (床からサイドフレームまで)
床面寸法(cm)	(ソファ時)	１９８.５×５７.５
	(ベッド時)	１９８.５×９８.５

床面静止耐荷重：２５０kg

材　質	パイン材(本体：ラッカー塗装)(すのこ：無塗装)
原産国	ベトナム

輸入販売元　株式会社 充英アート
問合せ　　０１２０－６００８７５
受付時間　土日祝除く
午前９時半～午後５時半

http://www.jajan.co.jp/

製造ロット番号

天然木ベッドの特徴（必ずお読みください）

①木材自体が持っている節、黒い木目のライン、青色の筋状の模様などが入っている部分があります。
なるべく目立たないような場所に、使用するなどの努力はしておりますが、皆無にする事はできません。
さらに、節、木目等は一様ではなく個々の商品により異なります。

②目立つ節、キズ等には必要な補修をしている場合があります。そのため補修跡が残る場合があります。

③材料のロットの違い等により板どうしの色合いに違いがある場合があります。

④すのこ床板はベニヤ等の床板に比べ、少々重くなっています。

⑤すのこの裏面や横桟木は美観を主目的にしたものではありません。

⑥ごくまれにすのこの横桟木等に小さな穴があいている場合があります。これは虫食い跡の穴です。
虫は木材を高温乾燥させる過程で死滅していますので、新たに発生する事はありません。

⑦ベッドがきしむ場合は、再度ボルトを締め直し、厚い布などの緩衝材をすのことサイドフレームの間に挟むと軽減される場合があります。

注意事項

①ご使用になる前にこの「注意事項」をよくお読みの上、正しくお使いください。

②ここに掲載した「注意事項」は安全に関する重大な内容を記載しておりますので、必ず守ってください。
（お子様のいるご家庭では特に注意してください。）

これらの記載内容は次の意味をあらわしています。

警告：誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

注意：誤った取扱いをすると、使用者が重傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。
※物的損害とは家屋及び家畜･ペットに関わる拡大損害を示します。

組立上のご注意

警告:組み立ての際は広い場所で行い、工具類の取り扱いには十分注意(特にお子様)してください。

警告:ボルト・ナット類は、最初は全てゆるく締め、全部のネジが入ったらきちんと締め直してください。
〔最初からきちんと締めてしまうと、ネジ穴がずれてネジが入りにくくなります。〕

警告:組み立て作業は二人以上で行ってください。

注意:あらかじめ同梱の工具を用意してください。

注意:組み立てる前にパーツ及び部品の数を確認してください。

注意:ダンボールなどを下に敷いてから組み立ててください。床が傷つくことがあります。

注意:組立の順番を間違えると組み立てられない場合があります。組立説明図の順番に沿って組み立ててください。

注意:本品が組み上がったら、ボルト・ナット等で確実に締めてあるか、再度確認してください。

注意:レンチでボルトを締めすぎないようにしてください。

設置上の注意

警告:本品の設置は二人以上で行ってください。

注意:高温・多湿の部屋で空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなり、健康を害する事があります。本品に空気が流れるよう壁から少し離したり(１０ｃｍ位が望ましい)、部屋の換気をしてください。

注意:直射日光や熱・冷暖房器の風などが直接当たらない様にしてください。本品が歪んだりする原因となることがあります。

注意:本品は水平を保つように置いてください。本品が歪んだまま使用していると本品の強度が落ちる等、本品が壊れたりケガをすることがあります。

注意:本品を設置する際は引きずらないでください。本品の破損や床にキズがつく恐れがあります。

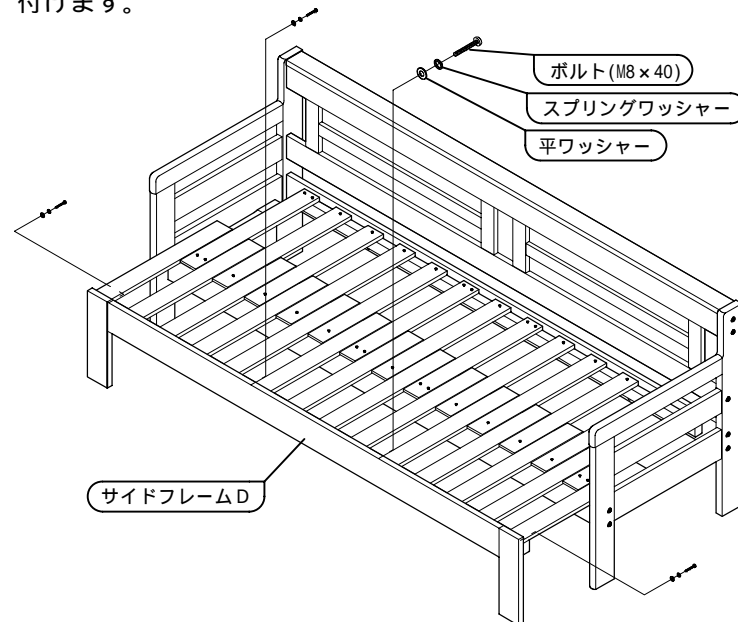
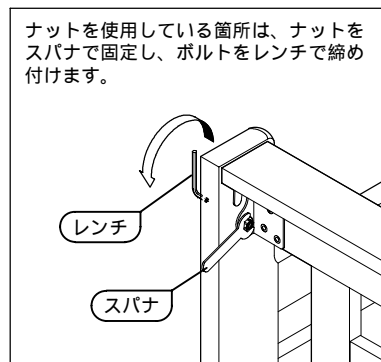
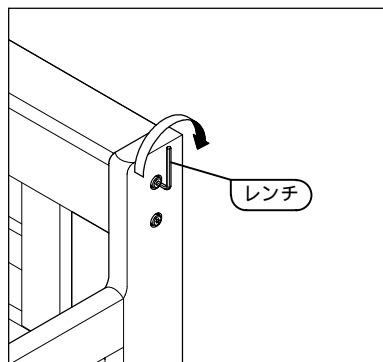
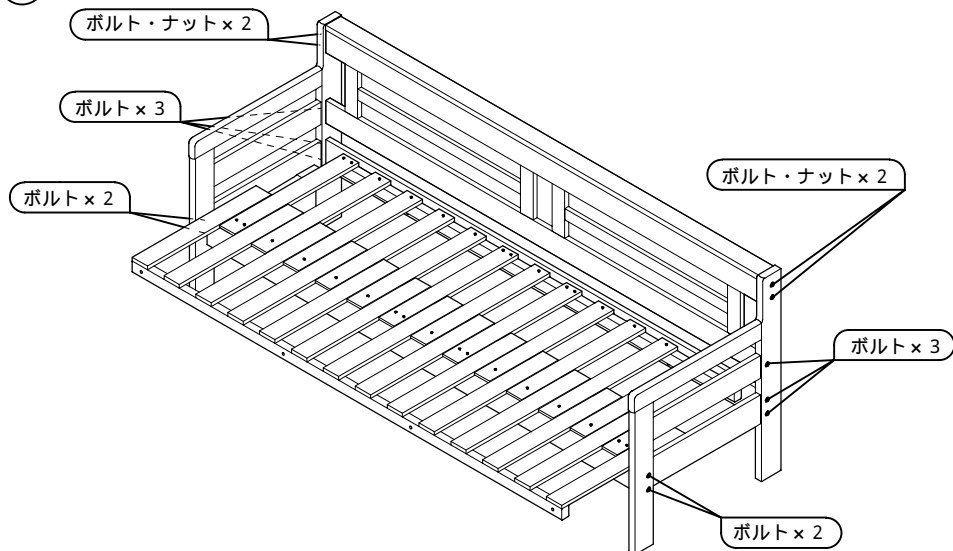
使用上の注意

警告:ストーブや暖房器具の近くに置くことを避け、熱を受けないようにしてください。変形や変色、布団への引火の原因になりますので十分注意してください。

警告:本品の静止耐荷重は２５０kgです。床面からはみ出るものは置かないでください。置いたものが落下しケガをする恐れがあります。

5 サイドフレームＤを取り付け完成です。

※必ず別売りのマットレス、または、敷布団を敷いて使用してください。

① すのこの内側４ヶ所の穴からボルトを差し込み、サイドフレームＤを取り付けます。

警告：本品の上に立つ、座ったまま激しく動かす、踏み台代りに使う、不安定な姿勢で腰掛ける等しないでください。安定をくずし、倒れてケガをする危険があります。
また、床板の上でとびはねたり、あばれたりすると通常以上に力が掛り、床板の桟木が折れ、ケガをする危険がありますので絶対にやめてください。

警告：床板はカビが発生しにくいように、すのこ状になっていますが完全ではありません。
カビは板とふとんやマットの接触面から発生する事が考えられますので、できるだけふとんやマットは天日に干すか、風通しをよくする様にしてください。
また、ベッドを設置した環境によっては、塗装の表面に結露が発生することがあります。
結露はカビの発生の原因となりますので、そのような環境でベッドをご使用にならないようお願いします。

注意：使用対象年齢は２歳以上です。床面の伸縮は、必ず保護者が行うようにしてください。

注意：使用時は、必ずマットレス・敷布団等を敷いてください。

注意：敷布団・マットレスは、前わく・後わく及び側板との間にすき間を生じないもので、厚みの合計が１０cm以下のものを使用してください。

注意：手すり・前わく又は後わく、たな等に腰かけたり、乗ったり、はねたり、ぶら下がったり、飛び降りたりしないでください。

注意：引き出した状態の床面の上では、片足で立ったり、はねたり、飛び降りたりしないでください。また、一点に集中荷重を加えないでください。破損の原因になります。

注意：水などで濡れたら乾いた布で拭き取ってください。シミ汚れや本品が壊れる原因になります。

注意：濡れたものを置かないでください。シミ汚れや本品が壊れる原因になります。

注意：ボルトをしっかりと締めてください。ゆるんだままでの使用によりボルト等が外れケガをする原因になることがあります。

注意：ひも類等の危険な物を取り付けないでください。

注意：手すり・前わく又は後わく・床板等に、頭をあてる・足をひっかける等のないよう、また、床面を伸縮するときに指等が挟まれないよう注意してください。

注意：ご購入当初、においを感じられたら十分に換気をしてください。徐々ににおいは弱くなりますが条件により弱くなる期間は異なります。

注意：移動する場合は解体してください。
（本品を組み立てた状態で移動しますとボルトの変形や本体の破損の原因になります。）

保守･点検の注意

警告：ボルト・ナット等の固定用ネジ類がゆるんでいないか時々点検し、ゆるみはじめたらしっかり締め直してください。ゆるんだまま使用していると壊れてケガをする原因になります。
また、本品の移動をした時も点検し、ゆるんでいたら締め直してください。

注意：手すり・ねじ類は、その取付けが確実かどうかをときどき点検してください。

注意：害虫を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。他から虫が入った事も考えられますので、放置すると害虫が拡大する恐れがあります。

注意：部品の交換ができる期間は２年間とさせて頂きます。正常な使用状態で故障および損傷した場合は無料ですが、不当な取り扱いによって故障および損傷した場合は有料とさせて頂きます。

解体上の注意

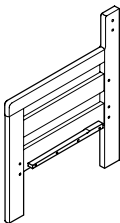
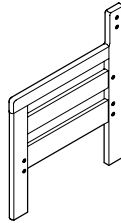
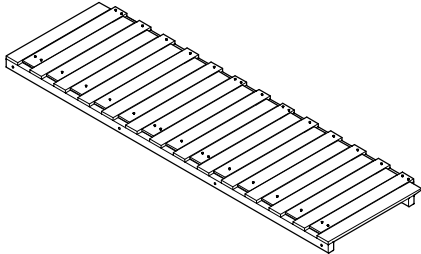
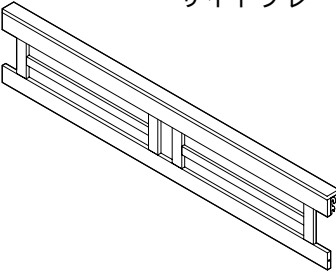
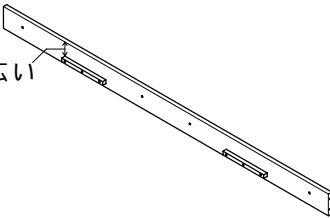
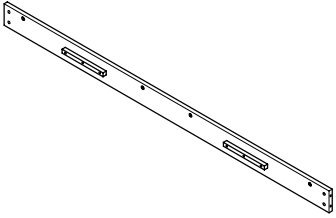
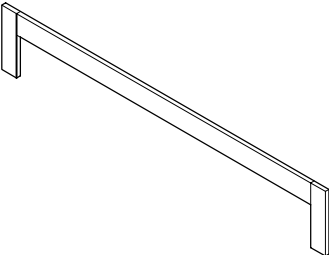
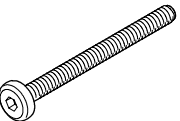
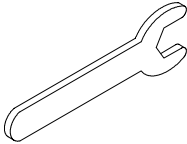
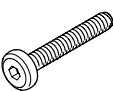
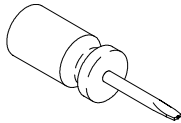
警告：解体時は二人以上で行ってください。

注意：組立順序とは逆の順に解体してください。

注意：本品に乗せてある物を全て取り除いてから解体してください。

注意：解体時に、使用している部品を無くさないようにしてください。

本品のお手入れの仕方

注意：本品のお手入れは柔らかい布でから拭きしてください。濡れた布の使用はシミの原因となります。

注意：ベンジン･シンナー･アルコール類及び、化学ぞうきんは表面の仕上げを傷めますので使用しないでください。

お客様へのお願い

注意：本品にセロハンテープ等を貼りつけないでください。変色・剥がれの原因となります。

注意：本品の改造はおやめください。

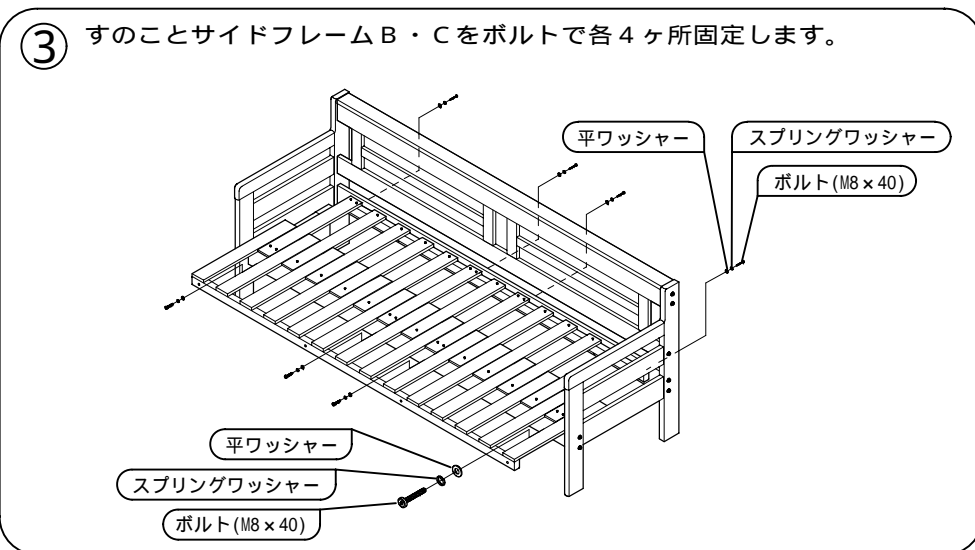
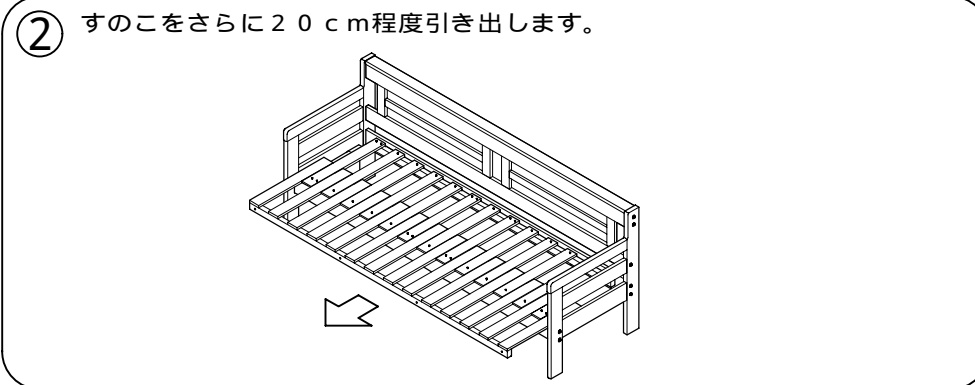
組み立てる前に部品の数を確認してください。

- サイドボードＬ　×１
- サイドボードＲ　×１
- すのこ　×１
- サイドフレームＡ　×１
- サイドフレームＢ　×１（幅が広い）
- サイドフレームＣ　×１
- サイドフレームＤ　×１

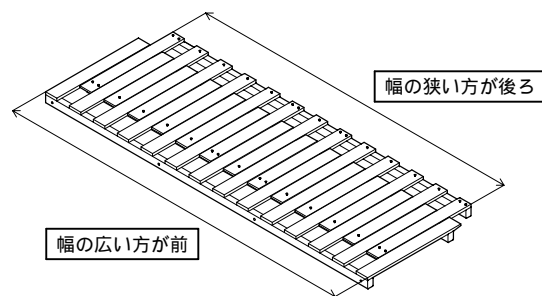
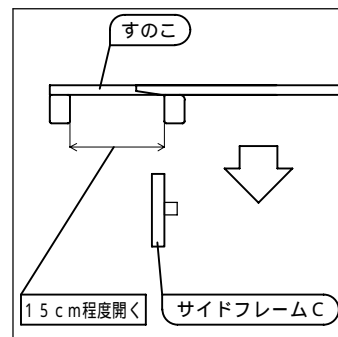
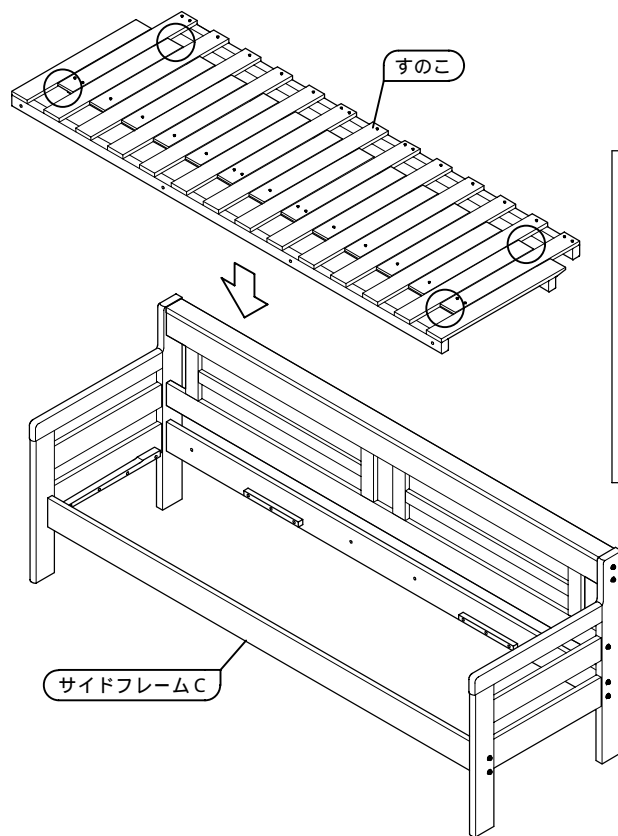
- ボルト(M8×70)　×10
- スプリングワッシャー　×26
- スパナ　×１
- レンチ　×１
- 平ワッシャー　×30
- ボルト(M8×40)　×16
- 丸ナット　×10
- ナット　×４

用意してください
マイナスドライバー

② すのこをさらに２０ｃｍ程度引き出します。

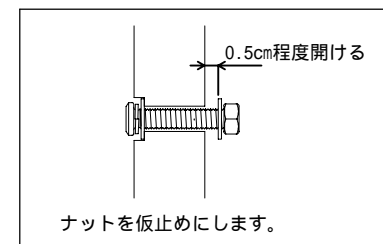
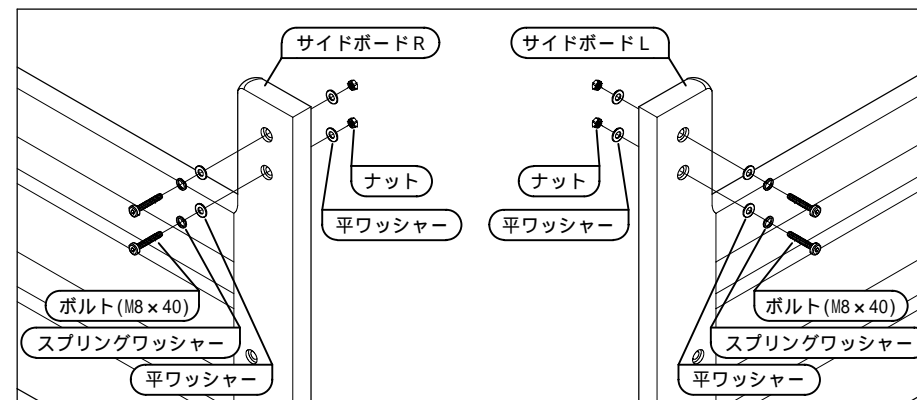
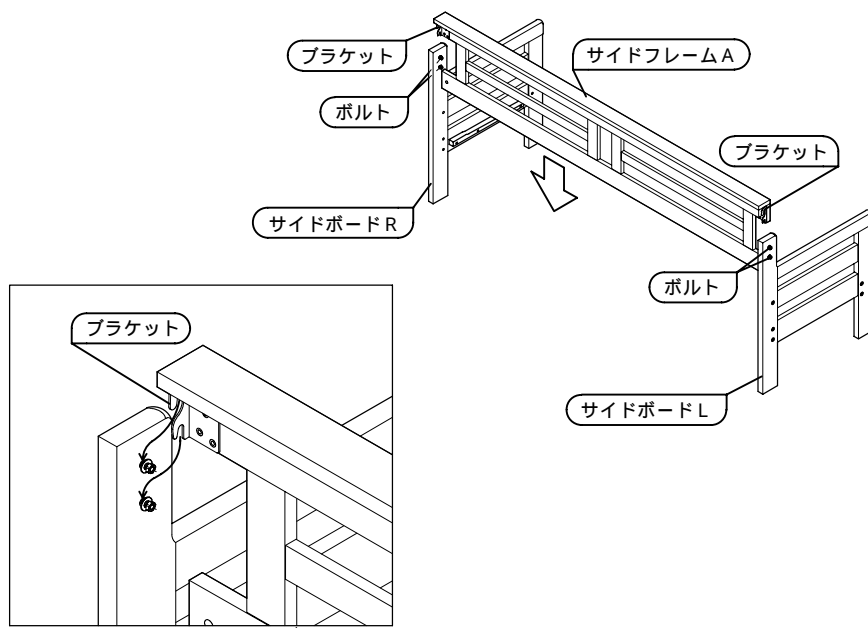
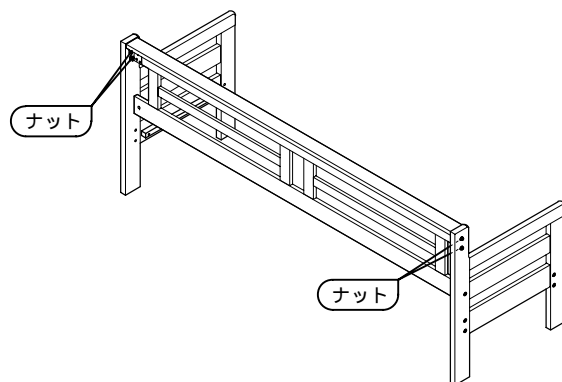
③ すのことサイドフレームＢ・Ｃをボルトで各４ヶ所固定します。

4 すのこをはめ込みます。

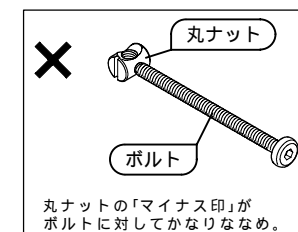
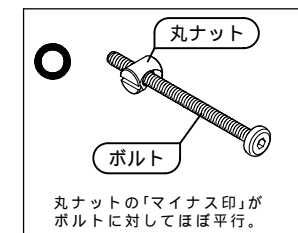
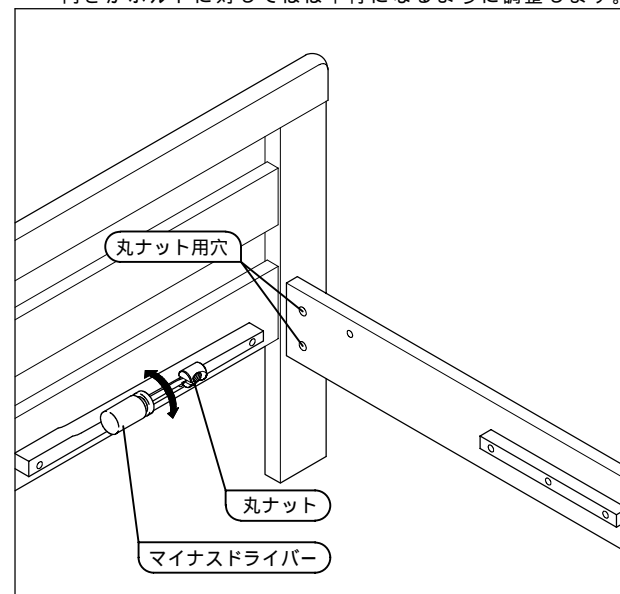
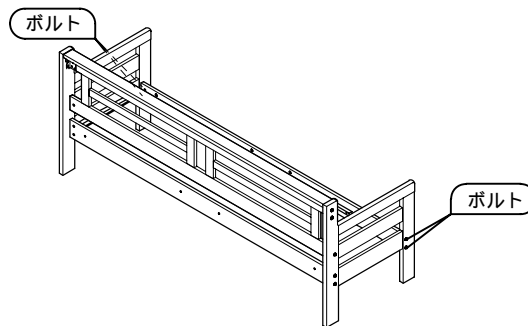
※すのこをはめ込む作業は、必ず２名で行ってください。

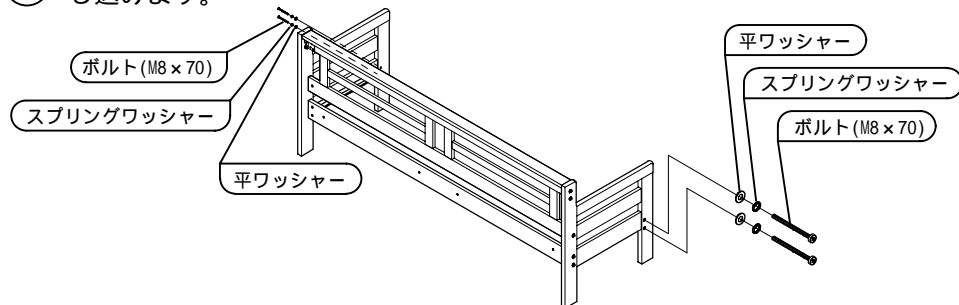
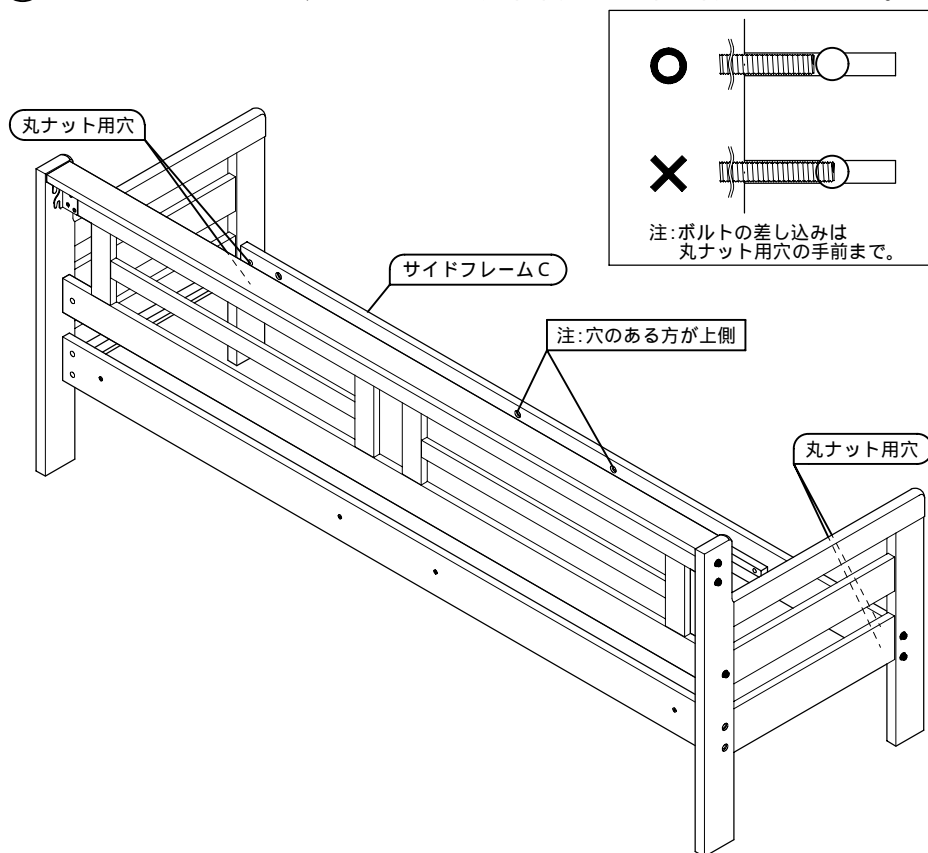
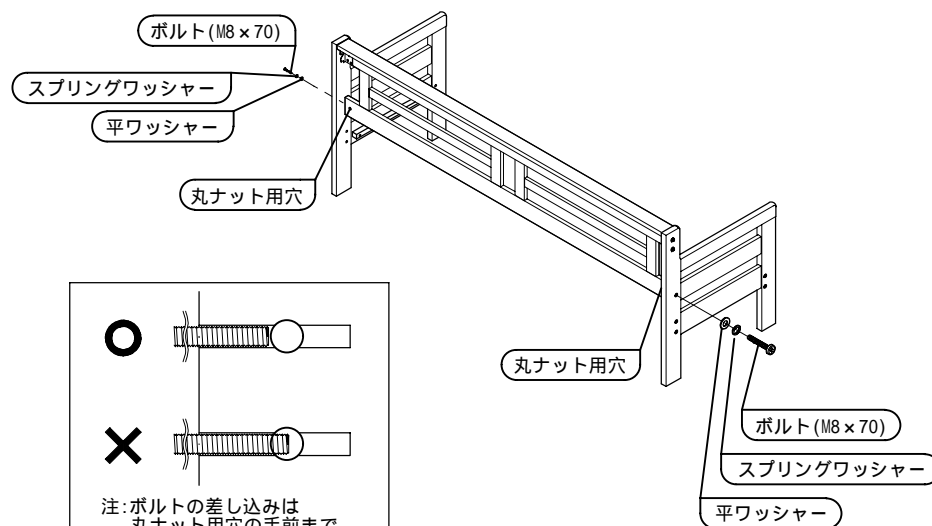
すのこには前後がありますので注意してください。

① すのこがサイドフレームＣに当たらないよう１５ｃｍ程度開いた状態にし、上からはめ込みます。
下図の○で囲んだ部分に手を入れ、前後両方のすのこを同時に持つようにしてください。

1 サイドボードＬ・ＲにサイドフレームＡを接続します。

① サイドボードＬ・Ｒの上部各２ヶ所の穴に、大きな穴の側からボルトを差し込み、ナットを仮止めの状態にします。

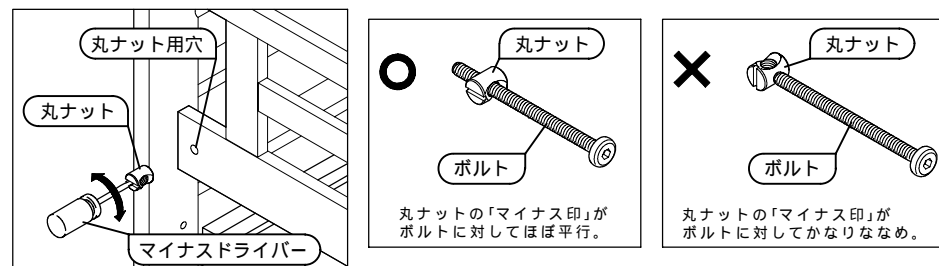
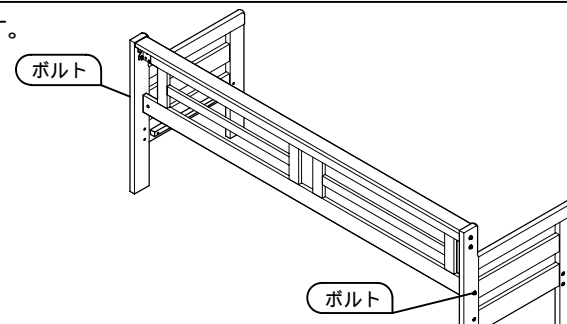
0.5cm程度開ける

※ナットを仮止めにします。

② サイドボードＬ・Ｒのボルトに、サイドフレームＡのブラケットを上からはめ込みます。

③ ナットを少し締めます。（まだ仮止めの状態にしておきます。）

③ サイドフレームＣの丸ナット用穴に丸ナットを差し込みます。

丸ナットの「マイナス印」を手前にして差込みます。マイナスドライバーで「マイナス印」の向きがボルトに対してほぼ平行になるように調整します。

④ ボルトを仮止めします。

3 サイドフレームCを接続します。

① サイドボードL・Rの前側各２ヶ所の穴に、大きな穴の側からボルトを差し込みます。

② サイドフレームCの穴位置を合わせ、ボルトを差し込みます。サイドフレームCは、丸ナット用穴を内側にして取り付けてください。

④ サイドボードL・Rの後ろ側中央各１ヶ所の穴に、大きな穴の側からボルトを差し込みます。

⑤ サイドフレームAの丸ナット用穴に丸ナットを差し込みます。

丸ナットの「マイナス印」を手前にして差込みます。マイナスドライバーで「マイナス印」の向きがボルトに対してほぼ平行になるように調整します。

⑥ ボルトを仮止めします。

2 サイドボードＬ・Ｒにサイドフレーム Ｂを接続します。

① サイドボードＬ・Ｒの後ろ側下部各２ヶ所の穴に、大きな穴の側からボルトを差し込みます。

② サイドフレームＢの穴位置を合わせ、ボルトを差し込みます。
サイドフレームＢは、丸ナット用穴を外側にして取り付けてください。

③ サイドフレームＢの丸ナット用穴に丸ナットを差し込みます。

丸ナットの「マイナス印」を手前にして差込みます。マイナスドライバーで「マイナス印」の向きがボルトに対してほぼ平行になるように調整します。

④ ボルトを仮止めします。